130年の歩みを力に新たなステージへ

未来拓創！

令和3年4月開校

青森県立三本木農業恵拓高等学校

学校紹介

Ver.2026

三農で広がる学び

校是「未来拓創（みらいたくそう）」

校是は、三本木農業恵拓高校の根本精神として定めたものです。ここでの学びを通して、生徒が未来に向かって自らの道を拓き、創っていくことが、地域を拓き、創ることにつながるとの思いから定めました。なお、「みらいたくそう」の音の響きには、ここで学ぶ生徒たちに、この地域の未来を、青森県の未来を、そして日本の未来を託す、という想いが込められています。

校訓「自主　創造　敬愛（じしゅ　そうぞう　けいあい）」

校訓は、統合となる十和田西高校、六戸高校、三本木農業高校の校訓を踏まえるとともに、これからの時代に求められる、自ら進んで学ぶ力、学び新たなものを生み出す力、多様な人々と協働する力を育むよう、自主、創造、敬愛の3つとしました。

校章

校章は、三本木農業高校の校章を用いることとし、新たな解釈として、日本農業の象徴である「稲穂」、3校統合の証を「クローバー」とし、三本木の地名から三角形をベースのデザインと捉えることとしました。稲穂とクローバーをモチーフに中央部分には高貴な絹糸の断面を模式化して、永遠の輝きを持つダイヤモンドと未来に向かって光り輝く生徒たちを重ねました。

校歌

普通科と農業に関する学科の融合した新たな高校を開校するにあたり、みんなが元気に口ずさめるようスクールソング「未来拓創」を定めました。校歌は、統合される3校の校歌を引き継いでいきます。



MISSION （本校の約束）

令和３年４月、十和田西高校、六戸高校、三本木農業高校の統合により、新たに「青森県立三本木農業恵拓高等学校」として開校しました。

本校では統合した高校の歴史や伝統、教育実践を継承しつつ、これまで培ってきた農業教育を生かした、まさに**「生きる学び」**を実践します。

GOAL （本校で伸ばす力）

変化の激しいこれからの時代を生き抜くためには、単なる知識・技能の定着ではなく、**身につけた知識・技能を生かし、他者と協働しながら、課題を創造的に解決する力が必要**です。そこで本校では次の３点を伸ばす力とします。

進んで学ぶ力

友と学ぶ力

学び生み出す力

本校の特徴

1 オンリーワンの普通教育（普通科）

普通科は、共通教科の学習のほか、農業や観光をテーマとした学習や地域の課題発見解決学習など、学びを生かす活動を重視し、他校にないオンリーワンの普通科を目指します。

2 プロフェッショナルを育成する農業教育（植物科学科、動物科学科、環境工学科、食品科学科）

農業科（４学科）は、本県農業教育の拠点校として農産物の生産や動物の飼育に加え、生産を支える環境、土木、加工、流通について幅広く学べる環境を整え、引き続き各分野のプロフェッショナルを目指す教育を進めます。

3 人間力を劇的に育む学校行事

多彩な行事、部活動を通じて、仲間と協力しながら生徒自身の手で一つの物事を達成させる豊かな人間力を育みます。

4 農業教育の強みを最大限に生かした取組

農業科特有の寄宿舎教育、農業クラブ活動も引き続き充実を図るとともに、普通科も必要に応じて参加できるようにするなど、農業科のメリットを最大限に生かした教育を進めます。







学校生活

1 生徒会（部活動）	生徒会活動は、生徒自ら主役となって企画・運営するよう取り組んでいます。また、部活動については、統合のメリットを生かし、引き続き生徒が様々な場面で活躍できるよう充実に努めています。 現在ある部活動・愛好会は、陸上競技部、馬術部、バレーボール部、バスケットボール部、バドミントン部、ソフトテニス部、アーチェリー部、相撲部、サッカー部、ラグビー部、硬式野球部、卓球部、女子サッカー部、剣道部、吹奏楽部、写真部、手芸部、華道部、書道部、放送部、インターアクト愛好会、愛玩動物愛好会、軽音楽愛好会、柔道愛好会、ボランティア愛好会です。
2 農業クラブ	農業科における農業クラブ活動は、日頃の学習を踏まえ、主体的な活動を通して生徒の科学性・社会性・指導性を高めることを目標に様々な取組を行っています。具体的には、授業と放課後の活動を連動させながら、生徒自らが課題を発見し、それについて調査・研究を行うプロジェクト学習のほか、様々な行事の企画・運営に取り組んでいます。
3 寄宿舎（寮）	寄宿舎での団体生活を通した人間教育も特長です。現在、植物科学科と動物科学科の１年生は全員入寮し、朝夕の当番実習等により農業経営者の育成に努めているほか、普通科も含めた他学科の生徒による希望入寮や2、３年生の特別入寮も認めています。

学科紹介

※各学科の募集人員は10月に決定予定です。

学科（募集人員）	コース	特　色
普　通　科（70名）	文理総合	共通教科に加え、本校の強みである農業や主に十和田八幡平国立公園を舞台とした学びを取り入れるとともに、探究型学習の充実を図りながら、今後求められる「進んで学ぶ力や課題発見・解決力」の育成を目指します。また、２年生で進路希望別に文理総合コースと地域・観光コースに進みます。文理総合コースは共通教科を主とした科目を設置し、大学等への進学に対応します。地域・観光コースでは、地域理解、観光等の学びを取り入れた科目を設置し進学や就職に対応します。
	地域・観光	
植物科学科（35名）	農業経営	作物の生理生態、栽培と生産に関する学習を通して、地域における農業経営者や植物関連産業の技術者として必要な能力と態度を身につける学習をします。3年生で希望別に、水稲・野菜の栽培を中心に、主に農業経営について学ぶ農業経営コースと、草花・施設野菜の栽培を中心に、環境と経済を融合させた農業について学ぶ施設園芸コースに進みます。
	施設園芸	
動物科学科（35名）	産業動物	産業動物と社会動物の生理生態、飼養と活用に関する学習を通して、地域における畜産経営者や動物関連産業の技術者として必要な能力と態度を身につける学習をします。3年生で希望別に、主に家畜生産や畜産経営について学習する産業動物コースと社会動物の管理技術と活用について活用する社会動物コースに進みます。
	社会動物	
環境工学科（35名）		生産基盤や環境保全、機械操作や整備に関する学習を通して、環境創造関連産業、地域の農業機械関連産業の技術者として必要な能力と態度を身につける学習をします。主に、農用地や道路・水路の設計や施工などの学習を通して、自然と共生した豊かな知育環境と農業・農村の基盤整備について学びます。
食品科学科（35名）		食品の加工や流通及び衛生管理に関する学習はもちろん、地域の資源や素材を活用し商品化に取り組む技術者として必要な能力と態度を身につける学習をします。主に、食品の特性や加工原理・加工技術などの学習を通して、自ら食品に関する情報収集をし、地域の食資源の活用や伝統食品の継承、食と衛生基準・健康について学びます。

よくある質問？

Q1 入学後の学科変更はできますか？

A1 各学科はそれぞれの目標を達成するため、３年間を見通したカリキュラムを編成しているので、原則として入学した学科で卒業まで学んでもらいたいと考えています。また、同じ考え方でコース変更もできません。

Q2 学食はありますか？

A2 あります。平成30年に三農会館が新築され、そこで学食を営業しています。

Q3 普通科は大学進学に対応していますか？

A3 普通科、農業科ともに大学進学に対応しています。

普通科の進路は四年制大学、短期大学、専修学校、就職など幅広い進路希望に対応しています。特に、本校が特徴とする農業や観光の学びを取り入れた探究型学習を生かして、四年制大学の推薦・総合型選抜での合格を果たしています。また、農業の各学科においても進学希望者のための選択科目を開設しています。

なお、カリキュラムの編成上、主に理学、工学系の学科において推薦の要件を満たさない所が一部あります。

Q4 入学者選抜において、例えば普通科と農業科の間での第２志望、第３志望は認められますか？

A4 普通科と農業科の各学科との間の第２志望、第３志望は認められます。



問い合わせ

青森県立三本木農業恵拓高等学校
青森県十和田市大字相坂字高清水７８－９２
TEL 0176-23-5341 FAX 0176-23-2141
MAIL sanbongi-ah@asn.ed.jp

HPはこちらへ